

# 令和5年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(一財) 札幌市スポーツ協会	所管課	ス) 企画事業課		
基本財産	20,000千円	記入者	担当	遠藤	電話 011-211-3044
設立年月日	昭和59年(1984年)4月1日	本市出資額	5,000千円 (出資割合 25.0%)		
設立・出資目的	札幌市におけるスポーツ団体を総括し、スポーツの普及振興及び健康づくり活動の支援並びに国際的なスポーツイベントの誘致及び開催の支援のために必要な事業を行うとともに札幌市の設置するスポーツ施設及び健康づくり施設の管理運営に関する事業を行い、もって北海道におけるスポーツの振興及び道民の健康増進並びにスポーツを通じた地域の活性化に寄与することを目的とする	出資年月日	昭和59年(1984年)4月1日		
沿革		昭和59年 平成19年	スポーツ振興事業団(当時)として設立 財団法人札幌市健康づくり事業団と統合し、 財団名称をさっぽろ健康スポーツ財団へ変更 一般財団法人へ移行		
代表者	理事長(常勤) 石川 義浩(市現職)				
主な出資者	① 札幌市 (25.0%) ② (一財) 札幌市スポーツ協会 (75.0%) ③ ④ ⑤ ⑥				
団体所在地	〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番5号 札幌市中島体育センター   電話 011-530-5550				

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 健康づくりセンター管理運営 (7ページ)	② 体育施設管理運営 (8ページ)
健康づくりセンターの管理運営を行い、運動指導や健康体力測定等の実施により、市民の健康づくりを推進し、市民の健康増進を図る。	地域スポーツの活動拠点として体育館・プール等の体育施設を管理運営し、市民の心身の健全なる発達とスポーツの普及振興を図る。
③ 講習会、大会等の開催 (9ページ)	④ スポーツ・運動指導及び指導者の育成事業(10ページ)
市民のスポーツ・健康づくり活動の動機づけ等を目的とし、各種スポーツイベントやスポーツ教室を開催し、札幌市におけるスポーツと健康づくり活動の普及振興を図る。	指導者の能力向上を図り、地域スポーツや健康づくり活動の普及を図る。
⑤ 調査研究及び情報提供 (11ページ)	⑥ 健康、体力づくりの相談 (12ページ)
情報誌の発行等により、市民に対し健康・スポーツに関する情報を総合的に提供することで、札幌市の「スポーツの推進と健康づくり活動の支援」に係る施策を推進する。	市民が自ら健康管理や体力づくりができるよう、各種運動プログラムの開発及び提供を行い、市民の健康づくり活動を支援する。
⑦ 市委託事業 (13ページ)	⑧ 国際交流館管理運営 (14ページ)
札幌市が行う各種事業を運営し、スポーツと健康づくり活動の普及振興を図る。	市民と外国人がスポーツ、文化活動等を通じて相互理解及び親善を深めることにより国際交流を推進し、札幌市の国際化を図る。
⑨ 競技力向上・普及促進の事業 (15ページ)	⑩ 札幌市民スポーツ大会の開催 (16ページ)
競技団体に対する組織強化、指導並びに育成を行うとともに、スポーツの育成強化・普及促進などの事業を効果的に実施することで、札幌市におけるスポーツ振興を図る。	広く市民がスポーツに親しむ機会を提供するとともに、市民スポーツの振興と普及発展を図り、健康増進と文化生活的向上を図る。
⑪ アスリートサポート事業 (17ページ)	⑫ スポーツ少年団の普及育成 (18ページ)
市民の継続的なスポーツ活動や大会・強化合宿への参加、青少年の冬季スポーツ活動に対して、助成金を交付し、スポーツ活動の充実と発展を図る。	札幌市スポーツ少年団を設置し、スポーツ少年団の普及と育成、活動の活性化を図り、青少年の健全育成を資する。
(2) 総支出に占める事業支出割合 97.9% (主要事業支出合計 4,197,996千円 ÷ 総支出 4,287,347千円)	

(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	<p>新型コロナウイルス感染症対策の緩和を受け、基本的な感染防止対策を徹底した上で一年間通しての施設開放が可能であったことから、事業数・参加者数は回復傾向にあるものの、密を避けるための諸室の定数制限や利用形態の変更等は継続したことにより、事業収入は厳しい状況が続いている。</p> <p>一方で、コロナ禍にありながら、年齢や性別、障がいの有無等を問わず、スポーツ・健康づくり活動・国際交流の機会を提供するため、それぞれの関心、適性等に応じた環境を整備するとともに、様々な講習会や大会等を実施したことで、青少年の健全育成、生涯を通じた健康の維持、地域コミュニティの活性化に貢献し、本市の施策の推進にも大きく寄与した。</p> <p>令和5年度も、引き続き本市との連携協力体制を維持し、行政課題に一体となって取り組むことを期待する。</p>
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	<p>運営管理を行う33施設のそれぞれの機能・特性を十分に活かすとともに、類似する施設間のバランスを考慮した市民開放や施設横断的な教室事業等を幅広く展開している。</p> <p>また、施設の維持管理及び各種事業の企画・実施ノウハウの蓄積を図り、施設環境の整備やサービス水準の向上等に努めている。</p> <p>活動指標における目標値を達成していない事業もあることから、今後も、更なる見直し・改善を進め、市民の様々なニーズに応じた事業拡充を期待する。</p>

### 3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位：人)

役員	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成					
						10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
常勤理事	0	1	1	3	14	41	22	49	41	54	平均年齢 43.5 歳
常勤監事	0	0	0	0		15					
非常勤理事			7								
非常勤監事			2								
職員					817						
常勤管理職	1		61								
常勤一般職	1		120	95							
非常勤職員			539								

役員任期	
理事	2年
監事	4年
代表権のある役員 の就任年月	
理事長	R4.4
副理事長	—
職員総数の推移(人)	
R03.4.1時点	858
R04.4.1時点	844

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分			R3年度決算	R4年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	3,998,801	4,256,330	(100.0%)	(+257,529)
			経常費用(b)	3,949,300	4,287,347		(+338,047)
			うち管理費等(c)	111,510	106,926	(2.5%)	(▲4,584)
			うち人件費(d)	1,977,873	2,026,332	(47.6%)	(+48,459)
			当期経常増減額(e)	49,501	▲31,017		(▲80,518)
	当期正味財産増減額(f)		8,331	▲31,537		(▲39,868)	
	貸借対照表	資産(g)		3,008,356	2,836,603		(▲171,753)
		流動資産(h)		1,589,894	1,477,583		(▲112,311)
		固定資産(i)		1,418,462	1,359,020		(▲59,442)
		うち基本財産(j)		20,000	20,000		(0)
		負債(k)		1,424,174	1,296,957		(▲127,217)
		流動負債(l)		810,034	711,363		(▲98,671)
		固定負債(m)		614,140	585,594		(▲28,546)
		正味財産(n)		1,584,182	1,539,646		(▲44,536)
借入金残高(o)		0	0		(0)		

#### R3年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
(a), (b), (e)	令和4年度の経常収益については、新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設の休館がなく、1年を通して施設の開放や自主事業を実施できたことから、受講料収益や利用料収益が前年に比べ大きく増加し、経常収益全体でも前年比257,529千円の増加となった。また経常費用は、前年度の臨時休館がなく今年度は通常開放となり管理経費が増えたことと電気・ガスの光熱費が大きく増加したため、前年比338,047千円の増加となり、当期正味財産増減額は前年比39,868千円の減少となった。
(g), (l)	資産は、流動資産が前年比112,311千円減少しているが、主な要因として電気・ガスの光熱費の異常な高騰に係る支払いにおいて現金預金が大きく減少したためである。流動負債は、補助金や委託料の返金に係る未払金や未払法人税等などが減少したため前年比98,671千円の減少となった。
(n)	正味財産は、負債の減少よりも資産の減少の方が大きかったため44,536千円の減少となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	102,766	107,254	(+4,488)
市委託料	2,826,424	3,025,976	(+199,552)
市業務委託料	273,562	379,936	(+106,374)
うち随意契約	273,562	379,936	(+106,374)
市指定管理費	2,552,862	2,646,040	(+93,178)
うち非公募	0	0	(0)
(参考)再委託額	641,324	666,188	(+24,864)
うち市業務委託分	77,484	79,407	(+1,923)
再委託率	(22.7%)	(22.0%)	(▲0.7%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考)市施設利用料金収入	720,843	810,160	(+89,317)
うち非公募			(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目	R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考	
(1)健全性	剰余金(n-j)	1,564,182	1,519,646	(▲44,536)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	52.7%	54.3%	(+1.6%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	196.3%	207.7%	(+11.4%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	89.5%	88.3%	(▲1.3%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	4,661千円	5,043千円	(+382千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	49.5%	47.6%	(▲1.9%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	130千円	127千円	(▲3千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	2.8%	2.5%	(▲0.3%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	9.4%	11.4%	(+2.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	91.3%	92.6%	(+1.4%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益

### 健全性の評価

非常に高い
  高い
  概ね健全
  やや低い
  低い

**理由** 債務超過や累積欠損の状態になく、借入金もない。自己資本比率が54.3%、流動比率が207.7%、固定比率が88.3%と、すべて評価基準を上回っており、健全性は高い。  
 ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により管理施設の利用料収益や受講料収益は大きく減少している状況にあり、職員一人当たり経常収益は前年より382千円増加したものの、完全な回復には至っていない。  
 また、人件費率(経常収益比)、管理費率(経常収益比)は前年比較で減少したが、市依存度及び市財政的関与割合については増加している。これは、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により管理施設が休館したり補助金事業や受託事業を一部中止・縮小していたが、令和4年度は通年開放となり補助金事業・受託事業ともに前年以上に実施できたこと、光熱費の高騰による指定管理費の補填があったことが主な要因と思われる。

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1)出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○出資の継続						
①	市出資金(出資比率)	目標	5,000千円 (出資比率25%)	5,000千円 (出資比率25%)	5,000千円 (出資比率25%)	
		実績	5,000千円 (出資比率25%)	5,000千円 (出資比率25%)	5,000千円 (出資比率25%)	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (2)人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○評議員就任及び市職員派遣の継続						
①	市職員の評議員就任数	目標	3	3	3	
		実績	3	3	3	
		評価		達成	達成	
②	市職員派遣数	目標	2	2	1	
		実績	1	2	2	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○スポーツ推進計画における目標の達成と課題の解決に向けた本市との連携強化						
①	指定管理施設（33施設） の利用者数	目標	3,440千人	3,870千人	4,300千人	
		実績	2,115千人	2,250千人	3,320千人	
		評価		未達成	未達成	
②	全市規模の大会・地域支 援事業等の参加者数	目標	50千人	56千人	62千人	
		実績	20千人	18千人	32千人	
		評価		未達成	未達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
<p>本市のスポーツ推進計画や健康づくり基本計画等の達成に向け、市民の誰もが気軽にスポーツや健康づくり活動に親しめる環境を整えるため、これまで蓄積したノウハウや豊富な人材を最大限に活用し、本市の公の施設の管理運営や各種スポーツ大会、健康セミナーなどを開催している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う利用制限などの影響により利用者数、参加者数ともに目標を下回っているが、利用者アンケートの実施や事業見直し等により、多様化する市民の意見や要望に耳を傾けながら、スポーツや健康づくりのすそ野を広げる体験会や教室事業の拡充にも積極的に取り組んだ。</p> <p>今後も引き続き新しい生活様式に対応した事業を実施するなどして、利用者数・参加者数の向上に努めていく必要がある。</p> <p>また、本市が計画するスポーツ施設を戦略的に活用したスポーツ環境整備を効率的かつ効果的に実施するための体制を整えており、スポーツの動機付けによるすそ野の拡大からトップアスリートの育成まで連動したジュニア育成事業を実施している。</p> <p>今後も、本市のスポーツの普及振興・健康づくり活動の支援に係る施策等を推進するため、施策の実行機関としての役割を担う当団体との連携協力体制を強化し、取組を継続していく。</p>						

### (4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○安定的な収入の確保と業務効率化等による経費の縮減						
①	指定管理施設（グルー プ）数	目標	8	8	8	
		実績	8	8	8	
		評価		達成	達成	
②	自主事業収入額	目標	503,800千円	566,770千円	629,750千円	
		実績	319,509千円	345,337千円	503,269千円	
		評価		未達成	未達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
<p>管理運営について、安定的な収入の確保として指定管理施設の管理運営受託を継続してきた。</p> <p>また、自主事業収入額については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休館や利用制限などが影響し収入額が減少し、令和4年度においてもその影響が大きく、目標を63,000千円下回っており、今後の積極的なマーケティング活動と、市民・利用者のニーズを的確に捉えた更なる事業展開を期待する。</p> <p>経費削減については、令和4年度も業務の効率化を図り、新型コロナウイルス感染症の減収を補う一定の成果を得ているが、今後も引き続き、効率化を進めていく必要がある。</p>						

### (5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○コンプライアンスの徹底と透明性の確保						
①	公認会計士事務所による 監査回数	目標	3回/年	3回/年	3回/年	
		実績	3回/年	3回/年	3回/年	
		評価		達成	達成	
②	税理士事務所による監査 回数	目標	11回/年	11回/年	11回/年	
		実績	11回/年	11回/年	11回/年	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○雇用の安定化と福祉施策への取組強化						
①	非正規職員から正規職員への転換人数	目標	4人	9人	21人	
		実績	5人	4人	9人	
		評価		達成	達成	
②	障がい者雇用人数 (法定雇用数8人)	目標	9人	9人	9人	
		実績	6人	8人	6.5人	
		評価		未達成	未達成	

未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）

障がい者雇用人数について、札幌市障がい者元気スキルアップ事業からの助言や支援を受けながら、採用への取組は進められているが、令和4年度6月の本市調査時の障がい者雇用数は6.5人（法定雇用率は1.95%）であり、法定雇用率を下回る結果となった。  
 なお、障がい者の職場定着に向けて採用担当者及び施設総括課長は「障害者職業生活相談員資格認定講習」を受講しており、職業生活全般における相談・指導を行える体制が整えられているほか、「障害者差別解消法」を遵守するため、独自の対応マニュアルを作成するとともに、各管理施設に「コミュニケーション支援ボード」や「タブレットPC」を配備するなど、ユニバーサルデザインへの取組を積極的に推進している。今後も障がい者雇用を進め、法定雇用率を満たすことが必要である。

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○スポーツ活動に関する施策への取組強化						
①	障がい者スポーツの主催 や協力事業数	目標	11回	13回	14回	
		実績	5回	12回	23回	
		評価		達成	達成	
②	ジュニアアスリート発掘・育成事業回数	目標	400人	450人	450人	
		実績	302回	593	539	
		評価		達成	達成	

未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）

《障がい者スポーツ主催・協力等事業》※参考  
 ・札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画（7月・3月開催）  
 ・チャレンジジム（主催、4月～9月/10月～3月）  
 ・冬季障がい者スポーツ指導者養成及び体験事業  
 (ア) シットスキー指導者養成講習会及び体験会（中島公園）（1/9）  
 (イ) バイスキー指導者養成講習会（サッポロテイネ）（12/17, 18）  
 (ウ) バイスキー指導者養成講習会体験会（藤野野外スポーツ交流施設）（2/23）  
 ・冬季障がい者スポーツ体験イベント  
 (ア) 雪にふれよう！わくわくウィンターフェスタ冬季パラスポーツ体験会（月寒体育館他）（2/16）  
 ・パラスポーツ理解促進イベント  
 (ア) やってみよう楽しいスポーツ！ふれてみようおもしろいパラスポーツ！2022（北区体育館）（8/11）  
 (イ) やってみよう楽しいスポーツ！ふれてみようおもしろい冬のパラスポーツ！2022（中島体育センター他）3/4）  
 ・パラスポーツ出張事業  
 (ア) イオンdeパラスポ（ポッチャ・シットスキー体験コーナー）  
 (イ) スペシャルオリンピック日本・北海道「EKSDay2022」（北ガスアリーナ札幌46）（7/18）  
 (ウ) さっぽろスノースポーツフェスタ2023（真駒内セキスイハイムスタジアム）（2/11）  
 ・チャレンジスイミング（主催、5月～7月/9月～11月/12月～2月）

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	<a href="https://www.sapporo-sport.jp/">https://www.sapporo-sport.jp/</a>
Eメールアドレス	
【経営状況等】	
<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書
<input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図 <input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 予算書	
【事業情報等】	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報 <input type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行： <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時間割</li> <li>・施設案内</li> <li>・教室募集チラシ</li> <li>・札幌市公式LINE、協会公式LINE、協会公式Instagram</li> <li>・地デジ・アプリ「i さっぽろ」</li> <li>・冊子「イベント情報はこちらでチェック 札幌市からのお知らせ」</li> </ul>	

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和5年7月1日現在のものです。

# 事業評価 ( 1 ) 健康づくりセンター管理運営

1. 事業概要	事業所管課：保健福祉局保健所健康企画課	担当：山口	電話：011-622-5151
(1)事業内容	① 施設の運営管理 健康づくり活動の場の提供（札幌市中央健康づくりセンター、札幌市西健康づくりセンター、札幌市東健康づくりセンター）、各種運動教室（自主事業）の開催 ② 自由参加プログラムの提供 ③ 運動指導事業 ④ 健康度測定、体力測定 ⑤ 女性のフレッシュ健診 ⑥ 生活・栄養相談、理学療法士による評価・相談		市補助金 94,882
(2)事業目的	市民一人ひとりの健康づくり活動を支援するため、健康づくりに関する普及啓発、情報提供、その他、健康増進に関与する事業を行うことによって、市民の健康向上に寄与する。		
(3)事業開始	平成5年(1993年) 9月1日		

## 2. 実施結果

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位 千円)	収入 (経常収益比)	135,470 ( 3.6 % )	135,582 ( 3.4 % )	( +112 )	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	( 0 )	
	市業務委託料	0	0	( 0 )	
	市指定管理費	111,315	94,882	( ▲ 16,433 )	
	市施設利用料金収入	21,136	36,145	( +15,009 )	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	( 0 )	
	その他収入	3,019	4,555	( +1,536 )	
	費用(支出)	165,071	154,789	( ▲ 10,282 )	
	事業費	159,679	150,199	( ▲ 9,480 )	
	管理費等	5,392	4,590	( ▲ 802 )	
収支差	▲ 29,601	▲ 19,207	( +10,394 )		
収支比率	82.07%	87.59%	( +5.52% )		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	自由参加プログラム・運動指導事業数(件)	98	104	101	110
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	総利用者数(中央健康づくりセンター)	50,846	67,600	81,226	42,500
②	総利用者数(東健康づくりセンター)	18,866	25,000	29,067	44,000
③	総利用者数(西健康づくりセンター)	58,121	76,200	101,969	113,000
④	利用者総合満足度(健康づくりセンターグループ)	99.8%	97.5%	98.7%	98.5%
⑤	重視する対象者利用人数	12,715	46,100	53,340	40,700
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限等により、年間の総利用者数は平常時より減少しているが回復傾向がみられる。基本的な感染症対策(換気、消毒など)のほか、密になることを避けるために運動フロア利用開始時間の繰り上げや健診受付時間を分散するなど、感染防止対策を十分に施したうえで利用勧奨を行い、重視する対象者への定期的な運動継続の働きかけを行う等、利用者数増加に向けて取り組んでいる。 また、利用者総合満足度調査については98.7%と高水準を維持しており、高く評価できる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	令和4年度は、施設利用料金収入やその他収入は昨年度より増額しているが収支差約1920万円のマイナスとなり、昨年度と比較すると回復傾向にあるが収支差を埋めるまでには至っていない。 コロナ禍における様々な制限の緩和に伴い、これまで以上に積極的な利用促進等を行い利用者数を増加させるとともに、効率的な運営によって支出削減に努め、収支改善を図る必要がある。

## 事業評価 ( 2 ) 体育施設管理運営

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 榎本	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	(1)指定管理事業 ① 体育館グループ（札幌市中央体育館など） ② 温水プールグループ（札幌市厚別温水プールなど） ③ 美香保体育館 ④ スケート施設グループ（札幌市月寒体育館・札幌市月寒屋外競技場・札幌市星置スケート場・札幌市カーリング場） ⑤ 屋外競技場施設グループ（円山総合運動場・札幌市麻生球場・厚別公園・平岸庭球場） ⑥ スポーツ交流施設（「つどーむ」）  ※ 詳細は別紙「体育施設一覧」のとおり（20ページ以降を参照） ※ 屋外競技場施設グループは、当団体が代表団体となり「健康スポーツ・公園緑化コンソーシアム札幌」が管理運営 令和5年度からはコンソーシアムを解消し当団体の単独管理運営		市指定管理費(公券) 2,213,963
(2)事業目的	別紙「体育施設一覧」のとおり（20ページ以降を参照）		
(3)事業開始	別紙「体育施設一覧」のとおり（20ページ以降を参照）		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		2,690,940 ( 67.3%)	2,828,279 ( 66.4%)	( +137,339)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	2,112,824	2,213,963	( +101,139)	
	市施設利用料金収入	576,759	612,219	( +35,460)	
	自主事業収入（補助金除く）	0	0	(0)	
	その他収入	1,357	2,097	( +740)	
	費用（支出）	2,729,461	2,860,691	( +131,230)	
	事業費	2,640,301	2,775,864	( +135,563)	
	管理費等	89,160	84,827	(▲ 4,333)	
	収支差	▲ 38,521	▲ 32,412	( +6,109)	
	収支比率	98.59%	98.87%	( +0.28%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	指定管理施設数（施設）	29	29	29	29
②	供用時間の延長件数（件）	4,500	4,500	6,301	6,400
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	利用者数 個人利用（人）	1,125,893	1,125,900	1,872,160	1,274,000
②	利用者数 専用利用（人）	953,374	953,400	1,232,015	1,889,900
③	利用件数 専用件数（件）	28,191	28,200	44,557	49,700
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  新型コロナウイルス感染対策の基本的な感染防止対策を徹底した上で一年間通しての施設開放を行い、利用者数は回復傾向にある。 コロナ禍において個人利用開放種目や開放形態を変更し、密になることを避けた開放を行い、また、専用利用については大会等の利用に対し最大限市民の利用に供したことは評価できる。 各種関係機関や利用者団体とも円滑な関係を構築しており、今後も地域の活動拠点として引き続き安定した施設運営を期待する。
	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  収入は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休館がなかったため、前年度比較で137,339千円増加した。支出についても施設の通常営業に伴い増加したが、諸経費等の縮減に努めた事により、支出全体では前年度比で6,109千円の増加となった。結果として収支差はマイナス32,412千円となり、前年度よりマイナス幅が減少した年度となった所は評価できる。 施設利用料金収入及び専用利用料金収入は徐々に回復状況にあり、利用者の声を踏まえた更なる工夫により、今後も引き続き安定した施設運営を期待する。



## 事業評価 ( 3 ) 講習会、大会等の開催

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 榎本	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	<p>① 講習会、教室、大会の開催（管理施設を中心として展開する事業）</p> <p>ア 教室・体験会・大会：バドミントン・卓球・水泳・フィギュア教室、テニス・カーリング大会、運動会直前のかけっこ教室など</p> <p>イ 通年型スクール：陸上・チアダンス教室など</p> <p>ウ 高等教育機関、専門機関との連携事業：運動あそびい・ろ・は など</p> <p>エ 施設間合同事業：ナイトリーグフットサル、D0!スポKIDS、D0スポ!シニア健康塾など</p> <p>オ 地域関係団体との連携事業：7upアス・クリーンアップ in北海道など</p> <p>カ 学校開放施設を利用した教室等：ヨガ教室など</p> <p>キ 社会貢献事業：ウォーターセーフティ無料講習会</p> <p>② スポーツ大会、イベントの開催等（全市的なイベントや屋外フィールドを活用して展開する事業）</p> <p>ア 大会・イベント：札幌マラソン、札幌国際スキーマラソンなど</p> <p>イ スポーツキャラバン事業：指導者派遣、ニュースポーツ用具レンタルなど</p> <p>ウ ウィンタースポーツ・レクリエーション活性化事業</p> <p>エ スポーツボランティアの育成支援事業</p> <p>③ さっぽろグローバルスポーツコミッションの事務局機能</p> <p>【市の関連事業名】 北海道マラソンの開催、スノーホッケー大会の開催</p>		
(2)事業目的	スポーツの普及振興、技術力や競技力の向上、また、高齢化社会における健やかで充実した生活を送るための健康増進活動を支援するとともに、地域コミュニティの醸成に資する。		
(3)事業開始	昭和59年度（1984年度）、③令和2年度（2020年度）		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		317,260 ( 8.5%)	528,310 ( 13.4%)	( +211,050)
市補助金・交付金・負担金		15,711	22,310	( +6,599)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		0	0	(0)	
自主事業収入(補助金除く)		300,330	500,578	( +200,248)	
その他収入		1,219	5,422	( +4,203)	
費用(支出)		347,510	563,282	( +215,772)	
事業費		336,722	549,869	( +213,147)	
管理費等		10,788	13,413	( +2,625)	
収支差		▲ 30,250	▲ 34,972	(▲ 4,722)	
収支比率		91.30%	93.79%	( +2.50%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 教室計画事業数(件)		5,844	6,100	5,671	5,800
② 大会・イベント計画事業数(件)		18	90	37	40
③					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 事業数(件)		5,498	5,700	5,461	5,700
② 参加者数(人)		69,282	120,000	91,763	93,000
③ スポーツ実施率(%)		57.7%	65.0%	57.0%	65.0%
④					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による事業への参加の自粛や、保全工事に伴う施設休館により、事業数・参加者数ともに目標を下回る結果となったが、引き続き感染症対策を講じながら事業を実施するとともに、施設間合同事業として施設を横断的に利用する多様な体験型教室の開催や、水泳事業において教室自動継続化の試行を行い、教室抽選による落選者を作らない仕組み作りを実施したこと、外部機関との連携を強化させ連携団体の強みを活かした事業を開催したことは評価できる。</p> <p>当該事業は、市民のスポーツ・健康づくり活動のきっかけづくりや継続性をサポートする上では重要な役割を果たしていることから、更なる参加者増に向け、市民の動向を注視した事業継続を期待する。</p>
(2)収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>収入は新型コロナウイルス感染症や保全工事による施設休館の影響から当初計画には届かなかったものの、前年度よりも事業日数が確保され参加者数も増加に転じたことから前年度比較で200,248千円の増収となった。</p> <p>一方で支出については経費縮減には努めたものの、必要経費の増額から結果215,772千円の増加となり、収支比率は前年度比+2.50%の93.79%となった。</p> <p>今後も、継続した支出費用の削減と効率的な事業運営により、安定かつ適正な運営を期待する。</p>

## 事業評価 ( 4 ) スポーツ・運動指導及び指導者の育成事業

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 榎本	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	① スポーツ・運動指導事業 ア 施設利用者へのスポーツ・運動指導 イ 市内各事業所等への指導者派遣 ウ スポーツキャラバン事業における運動指導者派遣 エ 健康・スポーツ関係団体の開催するイベントへの指導員派遣 オ スポーツ施設「健康セミナー」へ健康づくりセンター指導員派遣 ② 運動指導者育成事業 ア 健康運動指導士・健康運動実践指導者「運動指導従事者研修」 イ スポーツ救急手当講習会基礎コース※コロナのため中止 ウ 幼少年体育指導士認定講座 ③ スポーツ・運営指導者及び施設運営管理者の育成事業 ア 体育施設運営士養成講習会 イ スポーツ救急手当講習会基礎コース※コロナのため中止 【市の関連事業名】 アスリート活用事業、歩くスキー出前授業		
(2)事業目的	地域スポーツ指導者や健康運動指導者の活動の場を提供するとともに、指導者としての指導能力の向上を図る。		
(3)事業開始	昭和59年度（1984年度）		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入	0	560	(+560)	
	(経常収益比)	( 0.0 % )	( 0.0 % )		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	560	(+560)	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用(支出)	5	579	(+574)	
	事業費	5	579	(+574)	
	管理費等	0	0	(0)	
	収支差	▲ 5	▲ 19	(▲ 14)	
	収支比率	0.00%	96.72%	(+96.72%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	HPにおける広報活動	実施	継続実施	実施	継続実施
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	指導者数(人)	1,945	2,300	1,102	2,300
②	参加者数(人)	1,127	3,600	1,120	3,600
③	HPへのアクセス数(人) ※訪問者数	2,344,680	2,630,000	2,203,049	2,550,000
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数は大幅に目標を下回る結果となった。また、コロナ対策の緩和を受け、運動指導者育成事業の「運動指導従事者研修」の開催や、施設管理者の育成、指導員派遣の再開に取り組んでいることは評価できる。 また、指導者育成及び指導技術向上等は、市民のスポーツ実施率向上に繋がるものであり、HPのアクセス数の増加数からもスポーツ・健康づくり活動の再開への動きも見受けられるため、引き続き市民のニーズ等に注視し、当該事業を発展させていくことを期待する。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 令和4年度は事業規模の縮小等により参加者数が減少したことから、収支比率は96.72%となったが、各種事業が再開され、今後収入が増加されることが予想できるため、引き続き経費縮減に取り組み、安定した収入の確保に努めることを期待する。

## 事業評価 ( 5 ) 調査研究及び情報提供

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 榎本	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	① 情報収集・提供事業 各地域の健康・スポーツ関係団体などに関する総合的な情報を収集し、利用者へ提供 ア ホームページ 財団概要、管理施設情報、イベント・教室情報等の発信 イ 広告媒体の活用 新聞折り込み広告、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板等（ふりっぱー、まんまる新聞、FMアップル等）を活用した情報発信 ウ 公式LINE、公式Instagramを活用した情報発信 エ 情報誌発行事業 ② 調査事業 利用者満足度調査、施設アンケート調査、健康・スポーツに関する調査研究		76
(2)事業目的	市民に対し健康やスポーツに関する情報を総合的に提供し、スポーツの底辺拡大と普及振興、地域コミュニティの醸成や健康に対する意識の啓発を図る。		
(3)事業開始	昭和59年度（1984年度）		

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		0	76	( +76 )
		( 0.0 % )	( 0.0 % )		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入（補助金除く）	0	76	( +76 )	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用（支出）	2,599	3,184	( +585 )	
	事業費	2,599	3,184	( +585 )	
	管理費等	0		(0)	
	収支差	▲ 2,599	▲ 3,108	(▲ 509)	
	収支比率	0.00%	2.39%	( +2.39% )	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	事業数(情報発信及び調査研究事業合計数)	6	7	7	7
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	HPへのアクセス数(人) ※訪問者数	2,344,680	2,630,000	2,203,049	2,630,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない スポーツと健康づくりに関する最新の情報収集及び市民ニーズなどの調査研究などを通じ、スポーツ実施率の向上と健康づくりの啓発に寄与している。 また、誰にとってもわかりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティに関する日本工業規格JIS X 8341-3：2016の適合レベルAAに準拠するとともに、ホームページの利便性及び機能性向上に取り組んでいる。 ホームページへのアクセス数は目標を大きく下回ったものの、今年度からは公式LINE及び公式Instagramを開設し、より多くの市民へ向けた情報発信にも取り組んでおり、コロナ禍においても様々な広報媒体を活用し、積極的な情報提供に取り組んでいる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 当該事業では、これまでの調査研究に裏付けされた様々な情報を提供することにより、市民のスポーツや健康づくり活動を推進することを期待しており、事業としての役割は大きい。限られた予算で最大の効果が発揮できるよう、広報の収入確保に向けた努力と工夫を凝らした取組に期待する。

## 事業評価 ( 6 ) 健康、体力づくりの相談

1. 事業概要	事業所管課：保健福祉局保健所健康企画課	担当：山口	電話：011-622-5151
(1)事業内容	①健康度測定・体力測定事業 医学的検査・栄養分析・体力測定などによる総合指導プログラムの提供 ②健康サポート教室 (フレイル予防教室、腰痛予防運動教室、理学療法士による体力回復教室、高齢者のための筋トレ教室など) ③健康講座(認知症を学ぶ&予防運動講座、ひざの痛みが悪化するその前に!、運動の効果をプラスしよう!~延ばそう健康寿命~など) ④生活・栄養相談事業 食事や生活活動に関する各種相談など ⑤健康チェック・検査 (動脈硬化度チェック、骨強度検査など) ⑥運動指導員派遣		
(2)事業目的	市民の主体的な健康づくり活動が活発に行われるよう、健康に関する正しい知識や健康的な生活習慣を獲得する場として健康増進活動の支援を行い、生涯にわたりすこやかに心豊かに生活できる社会の実現を目指す。		
(3)事業開始	昭和59年度(1984年度)		

### 2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		29,184 (0.8%)	44,711 (1.1%)	(+15,527)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	59	(+59)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	29,109	44,532	(+15,423)	
	その他収入	75	120	(+45)	
	費用(支出)	38,142	53,630	(+15,488)	
	事業費	36,896	52,062	(+15,166)	
	管理費等	1,246	1,568	(+322)	
	収支差	▲8,958	▲8,919	(+39)	
	収支比率	76.51%	83.37%	(+6.86%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	健康サポート事業数(件)	221	278	281	270
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	参加者数(人)	5,941	11,068	10,284	8,931
②	利用者総合満足度(健康づくりグループ)(%)	99.8%	97.5%	98.7%	98.5%
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 新型コロナウイルス感染症対策の緩和を受け、基本的な感染防止対策を徹底した上で一年間通しての施設開放を行い、参加者数は目標には満たないものの回復傾向にある。 平年の水準には戻っていないものの、運動実践を伴った健康講座などは、コロナ禍において健康づくり活動を休止していた方々や、日常生活において活動量が減少した方々に対しての、運動を始めるきっかけづくりとなっている。 新型コロナウイルス感染症対策として利用人数制限等の密集を避けるための取り組みも行われており、コロナ禍においても安全・安心に利用できる環境づくりに努めている。 また、利用者の総合満足度調査では、満足度98.7%と非常に高い数値を維持している所は評価できる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 年間を通しての開館となったため前年と比較して15,527千円増収となったが、同時に事業費の拡大により、収支は依然としてマイナスの状態のままである。 次年度は中央健康づくりセンターの保全工事による休館があるため、西・東健康づくりセンターでの収入増加や徹底した業務効率化による支出額削減など、さらなる収支の改善を期待する。

# 事業評価 ( 7 ) 市委託事業

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部企画事業課	担当： ①②③⑦大友 ④⑧浅井	電話： 011-211-3044
(1)事業内容	①学校施設開放事業 ②中島公園歩くスキーコース運営業務 ③白旗山歩くスキーコース運営業務 ④ウインタースポーツ塾運営業務 ⑤バ이스キー指導者養成講習会 運営業務 ⑥小学校水泳授業実施業務 ⑦タグラグビー親子体験教室運営業務 ⑧さっぽろっ子スケートチャレンジ検定運営業務 ⑨2022シットスキー体験運営費 ⑩2030オリパラ招致スローガン意見募集に係るチラシ配布・回収業務 ⑪冬季パラスポ体験運営業務 ⑫健康増進フロアにおける運動等指導業務（清田保健センター） ⑬国保 特定保健指導 ⑭特定健康診査（市国保） ⑮生活保護世帯健康診査 ⑯大腸がん検査業務 ⑰緊急肝炎ウイルス検査業務 ⑱前立腺がん検診		市委託料(随意契約) 316,703 市委託料(随意契約) 3,502 市委託料(随意契約) 2,536 市委託料(随意契約) 7,057 市委託料(随意契約) 639 市委託料(随意契約) 5,103 市委託料(随意契約) 2,000 市委託料(随意契約) 721 市委託料(随意契約) 90 市委託料(随意契約) 531 市委託料(随意契約) 1,154 市委託料(随意契約) 784 市委託料(随意契約) 306 市委託料(随意契約) 1,893 市委託料(随意契約) 8 市委託料(随意契約) 143 市委託料(随意契約) 2,166 市委託料(随意契約) 17
(2)事業目的	スポーツの普及振興、市民の健康づくり活動の支援		
(3)事業開始	昭和59年度（1984年度）		

## 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		300,309 ( 8.0 % )	432,622 ( 10.8 % )	(+132,313)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	248,693	345,337	(+96,644)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	51,565	87,170	(+35,605)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	51	115	(+64)	
	費用(支出)	360,768	392,797	(+32,029)	
	事業費	360,768	392,797	(+32,029)	
	管理費等	0	0	(0)	
	収支差	▲ 60,459	39,825	(+100,284)	
	収支比率	83.24%	110.14%	(+26.90%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	学校開放校数(校)	522	545	515	508
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	学校開放利用者数(人)	638,848	817,200	1,125,182	1,125,200
②	その他受託事業参加者数(人)	6,610	11,000	9,881	11,000
③	スポーツ実施率(%)	57.7%	65.0%	57.0%	65.0%
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出ていない  主要事業である学校施設開放事業については、新型コロナウイルス感染症対策としての開放中止はなかったものの、そもそもの開放校数が減少している。そのような中、利用者数については新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準に回復傾向にあり、地域に密着したスポーツ活動の拠点としての役割を果たしている。 今後も利用者の需要を見極めながら、利用種目の拡大を図る等、より多くの市民がスポーツに親しむことができるよう事業改善を行っていく必要がある。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  新型コロナウイルス感染症対策の緩和を受け、学校開放事業の再開が収入増加に大きな要因となっている。今後も内部管理体制の効率化を図りつつ、市民サービスを低下させることのないよう十分に配慮し、事業を効率的に運営していく必要がある。

# 事業評価 ( 8 ) 国際交流館管理運営

1. 事業概要	事業所管課： 総務局国際部交流課	担当： 横江	電話： 011-211-2032
(1)事業内容	① 施設の運営管理 ② 市民と外国人の交流の場の提供 ③ スポーツ、文化活動等による国際交流に関する事業 ④ 施設の使用に供すること ⑤ その他施設の設置目的を達成するために必要な事業  【市の関連事業名】 世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開		市指定管理費(公募) 96,645
(2)事業目的	市民と外国人がスポーツ、文化活動等を通じて相互理解及び親善を深めることにより、国際交流を推進し、もって、札幌市の国際化に資すること。		
(3)事業開始	平成26年度 (2014年度)		

## 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		119,562 ( 3.2 % )	104,212 ( 2.6 % )	▲ 15,350
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	96,645	96,645	(0)	
	市施設利用料金収入	5,852	975	▲ 4,877	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	17,065	6,592	▲ 10,473	
	費用(支出)	150,747	85,269	▲ 65,478	
	事業費	145,823	82,741	▲ 63,082	
	管理費等	4,924	2,528	▲ 2,396	
	収支差	▲ 31,185	18,943	+50,128	
	収支比率	79.31%	122.22%	+42.90%	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	スポーツ・文化活動を通じた国際交流に関する事業・学習機会の提供数	13	5	11	—
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	スポーツ・文化活動を通じた国際交流に関する事業・学習機会の参加人数	2,768	600	5,078	—
②	スポーツ・文化活動を通じた国際交流に関する理解度、満足度	98.7%	90.0%	95.0%	—
③	利用者数 体育館利用(人)	14,033	5,600	2,165	—
④	利用者数 プール利用(人)	22,163	4,670	2,777	—
⑤	利用者数 総合 利用(人)	2	10	0	—
⑥	ライラックホール稼働率(%)	34.4%	35.0%	7.1%	—

## 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  国際交流事業については、リフレサッポロ改修工事休館のため、参加型の事業数は減少したが、管理スポーツ施設(北ガスアリーナ)を活用したパネル展を10事業開催し、事業数、参加者数は目標値を達成した。施設の利用者数は、改修工事期間の延長や国際交流館指定管理者更新に伴う臨時休館により減員となり目標は未達成となった。 国際交流館管理運営業務からの撤退に伴い、業務内容の詳細を記載した「業務引継書」を作成し次期指定管理者へ円滑に引継ぎを行った。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  R4年度は、リフレサッポロ改修工事に伴う施設休館により、利用料収入が大幅に減少したが、改修工事の工期延長等の影響もあり、費用面で管理業務の経費が減額となり、収支状況はR3年度から50,128千円改善した。

## 事業評価 ( 9 ) 競技力向上・普及促進の事業

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部企画事業課	担当： 宮本 (⑦藤本)	電話： 011-211-3044
(1)事業内容	①加盟競技団体と連携し、各団体の組織力強化や指導、育成を行う ②加盟団体理事長・事務担当者会議の開催 ③競技力向上普及促進委員会を設置し、スポーツの競技力向上及び普及促進のための総合的な施策を検討 ④加盟競技団体が実施する競技力向上事業（選手強化育成・指導者育成）に対する助成 ⑤加盟競技団体が実施する普及促進事業（講習会・研修会・スポーツ教室）に対する助成 ⑥競技力向上指導者講習会の開催 ⑦ジュニアアスリート発掘・育成事業の実施（次世代のトップアスリート、オリンピック選手を目指した選手を育成する事業） ア 冬季5種目（スノーボード、スキージャンプ、カーリング、ノルディックコンバインド、フリースタイルスキー）、夏季3種目（陸上、テニス、バドミントン）の選手育成 イ 有望なジュニア選手の発掘		市補助金 13,795           市補助金 13,000
(2)事業目的	加盟競技団体の組織強化、指導者の育成及び指導者の資質向上 加盟競技団体の競技力向上及び競技力の普及振興		
(3)事業開始	昭和35年度（1960年度）、⑦令和2年度（2020年度）		

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		28,187	30,937	( +2,750)
		( 0.7% )	( 0.8% )		
	市補助金・交付金・負担金	24,163	26,795	( +2,632)	
	市業務委託料	0	0	( 0)	
	市指定管理費	0	0	( 0)	
	市施設利用料金収入	0	0	( 0)	
	自主事業収入（補助金除く）	0	0	( 0)	
	その他収入	4,024	4,142	( +118)	
	費用（支出）	44,570	48,891	( +4,321)	
	事業費	44,570	48,891	( +4,321)	
	管理費等	0	0	( 0)	
	収支差	▲ 16,383	▲ 17,954	( ▲ 1,571)	
	収支比率	63.24%	63.28%	( +0.04%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	競技力向上事業（選手育成強化）の実施件数	22競技41事業	27競技49事業	27競技57事業	28競技48事業
②	競技力向上事業（指導者育成）の実施件数	3競技3事業	5競技8事業	6競技9事業	5競技7事業
③	普及促進事業（講習会・研修会）の実施件数	9競技11事業	12競技21事業	12競技19事業	11競技19事業
④	普及促進事業（スポーツ教室等）の実施件数	7競技9事業	10競技12事業	8競技11事業	10競技11事業
⑤	発掘・育成事業の実施件数	8競技12事業	8競技10事業	8競技12事業	8競技12事業
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	競技力向上事業への参加者数	3,765	7,900	7,234	7,800
②	普及促進事業への参加者数	1,800	3,100	2,557	3,100
③	発掘・育成事業の事業回数	429	600	338	400
④	スポーツ実施率	57.7%	65.0%	57.0%	65.0%
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	各競技団体やジュニアアスリートを支援することにより指導者・競技者の育成や競技活動が促進され、各競技の競技力向上に繋がっている。 昨年度に引き続き、令和4年度も新型コロナウイルスの影響で一部事業が実施できない状況であったが、その中でも対策を講じながら可能な限り事業を実施することで、今後事業開催時における実施基準を精査検証することができた。今後も本市のスポーツ振興や、スポーツ活動の活性化に繋がるよう、更なる底辺拡大に基づく各種事業展開に対して助成を継続していく必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	今後も競技団体加盟者数の増加を図りながら、協会と各競技団体が協力し、より効率的な経費執行に努めていく必要がある。

## 事業評価 (10) 札幌市民スポーツ大会の開催

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部企画事業課	担当： 宮本 (③大友)	電話： 011-211-3044
(1)事業内容	①総合開会式の開催 ②加盟競技団体が主管する市民参加の大会開催（53競技種目）及び事業費の助成 ③スポーツ大会感染症対策補助金		市補助金 8,423
(2)事業目的	広く市民の間にスポーツを振興し、普及・発展を図るとともに、市民の健康増進と文化生活的向上を目指す。		
(3)事業開始	昭和35年度（1960年度）		

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		12,849 ( 0.3%)	8,423 ( 0.2%)	▲ 4,426
市補助金・交付金・負担金		12,849	8,423	▲ 4,426	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		0	0	(0)	
自主事業収入（補助金除く）		0	0	(0)	
その他収入		0	0	(0)	
費用（支出）		13,004	10,629	▲ 2,375	
事業費		13,004	10,629	▲ 2,375	
管理費等		0	0	(0)	
収支差		▲ 155	▲ 2,206	▲ 2,051	
収支比率		98.81%	79.25%	▲ 19.56%	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	大会情報の発信（ホームページ閲覧数）	1,184	3,000	1,428	3,000
②	各競技団体の大会開催経費に対する助成額	3,375千円	5,297千円	4,554千円	5,204千円
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	市民スポーツ大会の参加者数	8,264	24,930	14,034	20,120
②	スポーツ実施率（※）	57.7%	65.0%	57.0%	65.0%
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルスの影響により、各競技団体に計画していた大会の一部が中止となった。 昨年度に引き続き、感染予防対策を徹底した開催とすることで、今後の安心安全な大会運営実施に向け、実施基準等を精査検証することができた。 今後も各競技団体と連携を図り、スポーツ振興や普及・促進に繋がるよう、より一層安心安全な大会を実施していく必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	運営方法の効率化・改善を継続しながら、更なる内容の充実を図るとともに、事業実施に影響のない範囲で経費削減の可能性を引き続き検討していく必要がある。



## 事業評価 ( 11 ) アスリートサポート事業

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部企画事業課	担当： 宮本	電話： 011-211-3044
(1)事業内容	①市民スポーツ振興事業 市民が広く継続的にスポーツに親しむことができる事業を実施する団体に対する助成 ②スポーツ大会出場及び強化合宿参加助成事業（団体・個人への助成） ア 国際の部：道外で開催される国際スポーツ大会及び合宿練習への参加に対する助成 イ 全国の部：道外で開催される全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対する助成 ③青少年冬季スポーツ振興事業 スキー・スケート等の冬季スポーツ種目を活動する22歳以下の青少年2名以上で構成される団体（学校部活動を除く）に対する助成		市補助金 14,616
(2)事業目的	札幌のスポーツ活動の充実と発展		
(3)事業開始	平成28年(2016年) 4月1日 ※令和2年(2020年)4月1日より一部事業内容を変更し継続		

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		10,977 ( 0.3% )	14,616 ( 0.4% )	(+3,639)
市補助金・交付金・負担金		10,977	14,616	(+3,639)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		0	0	(0)	
自主事業収入（補助金除く）		0	0	(0)	
その他収入		0	0	(0)	
費用（支出）		14,610	20,931	(+6,321)	
事業費		14,610	20,931	(+6,321)	
管理費等		0	0	(0)	
収支差		▲ 3,633	▲ 6,315	(▲ 2,682)	
収支比率		75.13%	69.83%	(▲ 5.30%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	市民スポーツ振興事業の実施件数	1	5	2	5
②	スポーツ大会出場及び強化合宿参加助成事業の実施件数(国際の部)	5	10	14	15
③	スポーツ大会出場及び強化合宿参加助成事業の実施件数(全国の部)	81	120	149	267
④	青少年冬季スポーツ振興事業の実施件数	29	40	33	30
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	本事業からのオリンピック、パラリンピアン輩出数	0	1	0	1
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	次世代のトップアスリートを育成するため、札幌のスポーツ振興に寄与する団体及び個人の活動に対し、スポーツ大会、強化合宿等の参加経費や青少年における冬季スポーツ種目へ助成することで、スポーツ活動の活性化を図っている。 新型コロナウイルス感染防止対策に係る規制が解除され、多くのスポーツ大会や強化合宿を開催することができたことから目標数を超える実績となった。今後も本市のスポーツ振興や、スポーツ活動の活性化に繋がるよう、助成を継続していく必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	今後も協会と各競技団体が協力し、多くの活動を支援する一方、効率的な経費執行に努めていく必要がある。

## 事業評価 (12) スポーツ少年団の普及育成

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部企画事業課	担当： 宮本	電話： 011-211-3044
(1)事業内容	札幌市スポーツ少年団を設置し、市内の単位スポーツ少年団を総括する事務局機能を担い、日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団と連携し、各種事業を推進する。 ①登録事務 ②指導者、父母に対して、資質の向上や理解を得るため、リーダー養成講習会や母集団研修会などの育成事業 ③国際的な交流をはじめ、全国、道内での交流大会、研修への派遣事業 ④軟式野球、サッカー、剣道、ソフトテニス、空手、バドミントン、ミニバスケットボール、少林寺拳法、バレーボール、冬季スポーツ（ジャンプ・アルペン）、綱引の交流大会事業 ⑤区スポーツ少年団との連携 ⑥種目別専門部の設置		市補助金 600
(2)事業目的	少年少女のスポーツ活動を促進し、体力づくりと時代を担う少年少女の人間形成を目的としている。		
(3)事業開始	昭和41年度（1966年度）		

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		2,607 ( 0.1% )	2,623 ( 0.1% )	(+16)
	市補助金・交付金・負担金	600	600	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入（補助金除く）	0	0	(0)	
	その他収入	2,007	2,023	(+16)	
	費用（支出）	2,664	3,324	(+660)	
	事業費	2,664	3,324	(+660)	
	管理費等	0	0	(0)	
	収支差	▲ 57	▲ 701	(▲ 644)	
	収支比率	97.86%	78.91%	(▲ 18.95%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	全道交流大会への派遣数	個人4/団体4	個人4/団体6	個人4/団体5	個人4/団体5
②	全国交流大会への派遣数	個人0/団体0	個人4/団体4	個人0/団体1	個人2/団体4
③	指導者育成事業への参加人数	個人21/団体0	個人100	個人12	個人151
④	リーダー育成事業への参加人数	18人	50人	14人	58人
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	登録者数（団員）	3,767人	3,900人	3,400人	3,400人
②	少年団への加入率（少年団加入人数÷市内小中学生）	2.8%	2.9%	2.5%	2.5%
③	少年団・団体数	237団体	250団体	218団体	218団体
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 子ども達の体力向上や心身の健全育成及びスポーツに親しむ機会を提供するために、少年団加入者を対象とした各種交流大会、指導者講習会及びリーダー講習会等様々な事業を行っており、令和4年度は新型コロナウイルスの影響が未だある中、少林寺拳法交流大会を除き従来の形で開催。また、全道、全国交流大会事業も通常どおり開催され、選手の派遣も実施した。 しかしながら、新型コロナウイルスの影響もあり、ここ数年、団体や団員数の減少が課題となっている。 今後も本市のスポーツ少年団を総括する唯一の団体として、各種目専門部、各区スポーツ少年団事務局と連携しながら、青少年のスポーツ活動推進及び健全育成に繋がる事業を実施するほか、HPなどの活用で、魅力ある活動を広く周知し、若い世代に向けてのスポーツ振興を行っていく必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 収入増に向けた取組を行うほか、効率的事業運営により、経費執行の適正化に努めていく必要がある。

## 別紙 体育施設（指定管理者施設）一覧

### 1. 事業概要

#### （1）札幌市体育館グループ（札幌市中央体育館など）

	名称	所在地	開設時期
(1)施設名等	①札幌市中央体育館 (北ガスアリーナ札幌46)	中央区北4条東6丁目	令和元年4月27日
	②札幌市北区体育館	北区新琴似8条2丁目	昭和58年1月21日
	③札幌市東区体育館	東区北27条東14丁目	昭和57年1月9日
	④札幌市白石区体育館	白石区南郷通6丁目北	昭和60年12月26日
	⑤札幌市厚別区体育館	厚別区厚別中央2条5丁目	昭和56年2月21日
	⑥札幌市豊平区体育館	豊平区月寒東2条20丁目	昭和59年10月10日
	⑦札幌市南区体育館	南区川沿4条2丁目	昭和59年1月20日
	⑧札幌市手稲区体育館	手稲区曙2条1丁目	昭和56年2月20日
	⑨札幌市清田区体育館・温水プール	清田区平岡1条5丁目	平成9年11月4日
	⑩札幌市西区体育館・温水プール	西区発寒5条8丁目	昭和61年12月26日
	⑪札幌市中島体育センター	中央区中島公園1番5号	平成12年11月1日
	⑫札幌市宮の沢屋内競技場	西区宮の沢490番地	昭和62年11月12日
	⑬札幌市白旗山競技場	清田区真栄502番地	平成3年1月13日
(2)事業概要	施設の管理運営 スポーツ活動の場の提供、スポーツ教室等（自主事業）の開催など		
(3)事業目的	市民の心身の健全なる発達及び体育の普及振興を図るため		

#### （2）札幌市温水プールグループ（札幌市厚別温水プールなど）

	名称	所在地	開設時期
(1)施設名等	①札幌市厚別温水プール	厚別区厚別中央2条6丁目	平成16年10月2日
	②札幌市豊平公園温水プール	豊平区美園6条1丁目	昭和58年7月22日
	③札幌市平岸プール	豊平区平岸5条14丁目	平成元年9月27日
	④札幌市白石温水プール	白石区平和通1丁目南	平成4年12月23日
	⑤札幌市手稲曙温水プール	手稲区曙2条1丁目	平成6年11月18日
	⑥札幌市東温水プール	東区北16条東16丁目	平成8年12月20日
(2)事業概要	施設の管理運営 スポーツ活動の場の提供、スポーツ教室等（自主事業）の開催など		
(3)事業目的	市民の心身の健全なる発達及び体育の普及振興を図るため		

#### （3）札幌市美香保体育館

	名称	所在地	開設時期
(1)施設名等	札幌市美香保体育館（野球場を含む）	東区北22条東5丁目	昭和47年2月26日
(2)事業概要	施設の管理運営 スポーツ活動の場の提供、スポーツ教室等（自主事業）の開催など		
(3)事業目的	市民の心身の健全なる発達及び体育の普及振興を図るため		

(4) 札幌市スケート施設グループ（札幌市月寒体育館など）

	名称	所在地	開設時期
(1)施設名等	①札幌市月寒体育館	豊平区月寒東1条8丁目	昭和47年4月1日
	②札幌市月寒屋外競技場	豊平区月寒東1条8丁目	昭和63年8月7日
	③札幌市星置スケート場	手稲区星置2条1丁目	昭和60年12月27日
	④札幌市カーリング場 （どうぎんカーリングスタジアム）	豊平区月寒東1条9丁目	平成24年9月15日
(2)事業概要	施設の管理運営 スポーツ活動の場の提供、スポーツ教室等（自主事業）の開催など		
(3)事業目的	市民の心身の健全なる発達及び体育の普及振興を図るため		

(5) 札幌市屋外競技場施設グループ（円山総合運動場など）

	名称	所在地	開設時期
(1)施設名等	①円山総合運動場	中央区宮ヶ丘、宮の森	昭和10年7月14日
	②札幌市麻生球場（庭球場を含む）	北区麻生町7丁目	昭和55年8月2日
	③厚別公園	厚別区上野幌3条1・2丁目	昭和62年6月25日
	④平岸庭球場	豊平区平岸5条19丁目	平成30年4月29日
(2)事業概要	施設の管理運営 スポーツ活動の場の提供、スポーツ教室等（自主事業）の開催など		
(3)事業目的	市民の心身の健全なる発達及び体育の普及振興を図るため		

(6) 札幌市スポーツ交流施設（「つどーむ」）

	名称	所在地	開設時期
(1)施設名等	札幌市スポーツ交流施設	東区栄町885番地1	平成9年6月15日
(2)事業概要	施設の管理運営 スポーツ等を通して憩い交流する場の提供、スポーツ教室等（自主事業）の開催など		
(3)事業目的	スポーツ等を通して市民の交流の促進を図ることにより、市民の健康増進及び市民文化の向上に資するため		

# 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	465,726,988	863,380,525	△ 397,653,537
売掛金	0	16,250	△ 16,250
商品	1,330,746	1,215,388	115,358
貯蔵品	11,883,240	15,910,080	△ 4,026,840
未収金	988,781,627	697,255,693	291,525,934
立替金	1,517,663	1,292,396	225,267
預け金	2,485,330	5,655,220	△ 3,169,890
前払費用	5,856,909	5,169,126	687,783
流動資産合計	1,477,582,503	1,589,894,678	△ 112,312,175
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
決済用預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	582,362,830	607,931,460	△ 25,568,630
什器備品購入積立資産	65,000,000	65,000,000	0
減価償却引当資産	208,900,000	223,200,000	△ 14,300,000
事務所移転費用積立資産	10,000,000	10,000,000	0
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	355,000,000	0
健康スポーツ推進資産	17,800,000	17,800,000	0
競技スポーツ普及促進積立資産	59,419,248	72,419,248	△ 13,000,000
特定資産合計	1,298,482,078	1,351,350,708	△ 52,868,630
(3) その他固定資産			
建 物	4,822,026	5,346,827	△ 524,801
車両運搬具	153,526	307,960	△ 154,434
什器備品	15,865,609	18,555,476	△ 2,689,867
ソフトウェア	13,700,013	14,251,776	△ 551,763
リース資産	5,473,714	8,125,892	△ 2,652,178
電話加入権	456,859	456,859	0
リサイクル預託金	66,210	66,210	0
その他固定資産合計	40,537,957	47,111,000	△ 6,573,043
固定資産合計	1,359,020,035	1,418,461,708	△ 59,441,673
<b>資産合計</b>	2,836,602,538	3,008,356,386	△ 171,753,848
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
買掛金	1,021,160	840,956	180,204
未払金	335,893,590	432,968,802	△ 97,075,212
未払法人税等	520,000	41,169,400	△ 40,649,400
未払消費税等	55,228,400	31,354,300	23,874,100
未払費用	154,807,755	155,333,004	△ 525,249
前受金	54,021,150	46,462,530	7,558,620
預り金	9,112,707	9,207,328	△ 94,621
リース債務	2,977,673	2,932,693	44,980
賞与引当金	97,780,674	89,764,794	8,015,880
流動負債合計	711,363,109	810,033,807	△ 98,670,698
<b>2 固定負債</b>			
リース債務	3,231,252	6,208,925	△ 2,977,673
退職給付引当金	582,362,830	607,931,460	△ 25,568,630
固定負債合計	585,594,082	614,140,385	△ 28,546,303
<b>負債合計</b>	1,296,957,191	1,424,174,192	△ 127,217,001
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
出捐金	20,000,000	20,000,000	0
寄付金	26,000,000	39,000,000	△ 13,000,000
指定正味財産合計	46,000,000	59,000,000	△ 13,000,000
(うち基本財産への充当額)	( 20,000,000 )	( 20,000,000 )	0
(うち特定資産への充当額)	( 26,000,000 )	( 39,000,000 )	△ 13,000,000
<b>2 一般正味財産</b>	1,493,645,347	1,525,182,194	△ 31,536,847
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	0
(うち特定資産への充当額)	( 690,119,248 )	( 704,419,248 )	△ 14,300,000
正味財産合計	1,539,645,347	1,584,182,194	△ 44,536,847
<b>負債及び正味財産合計</b>	2,836,602,538	3,008,356,386	△ 171,753,848

# 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	304,777	327,252	△ 22,475
② 事業収益			
参加料収益	51,578,925	8,980,275	42,598,650
協賛金収益	23,985,119	7,800,912	16,184,207
広告料収益	2,609,546	0	2,609,546
受講料収益	463,235,371	308,635,430	154,599,941
委託料収益	346,680,038	271,290,495	75,389,543
利用料収益	736,509,407	654,679,606	81,829,801
指定管理費用収益	2,405,490,661	2,320,784,417	84,706,244
測定料収益	3,072,848	1,736,462	1,336,386
健診料収益	2,899,804	2,305,998	593,806
指導員派遣収益	266,367	210,094	56,273
売上収益	27,969,722	20,005,199	7,964,523
登録料収益	1,132,000	1,257,005	△ 125,005
その他収益	4,679,326	3,571,485	1,107,841
③ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	107,253,856	100,948,053	6,305,803
受取民間補助金	4,096,000	2,618,182	1,477,818
④ 受取負担金			
受取負担金	36,310,286	22,907,575	13,402,711
⑤ 受取寄付金			
受取寄付金振替額	13,000,000	13,000,000	0
⑥ 雑収益			
雑収益	25,256,284	3,536,757	21,719,527
経常収益計	4,256,330,337	3,744,595,197	511,735,140
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	10,545,000	11,253,000	△ 708,000
給料手当	1,136,138,718	1,140,802,489	△ 4,663,771
退職給付費用	66,828,876	49,895,172	16,933,704
臨時雇賃金	502,952,329	464,581,742	38,370,587
法定福利費	197,618,299	194,127,176	3,491,123
福利厚生費	18,707,134	18,571,709	135,425
仕入高	4,665,767	4,966,782	△ 301,015
報酬	238,393,315	162,648,935	75,744,380
教育研修費	3,560,667	2,512,247	1,048,420
報償費	20,579,028	8,182,527	12,396,501
会議費	68,573	5,114	63,459
接待交際費	282,533	16,466	266,067
旅費交通費	4,964,865	1,743,319	3,221,546
通信運搬費	14,765,426	16,128,829	△ 1,363,403
減価償却費	15,321,543	20,342,318	△ 5,020,775
消耗什器備品費	11,321,097	22,252,150	△ 10,931,053
消耗品費	88,743,847	79,230,850	9,512,997
修繕費	49,945,050	38,973,049	10,972,001
印刷製本費	4,364,453	4,330,676	33,777
燃料費	4,046,358	3,660,634	385,724
光熱水費	900,934,135	745,669,260	155,264,875
賃借料	38,166,033	21,687,222	16,478,811
保険料	8,425,788	9,849,656	△ 1,423,868

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
諸謝金	7,377,860	11,611,530	△ 4,233,670
広告宣伝費	10,307,722	5,760,421	4,547,301
租税公課	4,774,526	14,966,745	△ 10,192,219
支払負担金	5,342,619	8,727,699	△ 3,385,080
支払寄付金	27,341,800	36,467,293	△ 9,125,493
委託費	731,033,259	699,222,949	31,810,310
支払利息	123,107	169,587	△ 46,480
支払助成金	39,813,010	34,062,427	5,750,583
支払手数料	11,950,035	4,521,627	7,428,408
雑費	1,018,888	848,804	170,084
② 管理費			
役員報酬	10,545,000	11,253,000	△ 708,000
給料手当	64,756,113	68,691,554	△ 3,935,441
退職給付費用	3,654,704	3,195,848	458,856
法定福利費	13,715,068	14,576,801	△ 861,733
福利厚生費	870,832	924,832	△ 54,000
報酬	998,000	521,000	477,000
会議費	295,353	4,528	290,825
接待交際費	289,008	2,000	287,008
旅費交通費	245,746	17,884	227,862
通信運搬費	91,128	129,280	△ 38,152
消耗品費	619,413	496,733	122,680
修繕費	0	337,250	△ 337,250
印刷製本費	421,270	437,822	△ 16,552
賃借料	294,530	0	294,530
保険料	413,350	820,250	△ 406,900
諸謝金	6,141,500	6,154,250	△ 12,750
広告宣伝費	1,833,550	1,653,701	179,849
租税公課	534,912	363,661	171,251
支払負担金	520,023	512,214	7,809
委託費	602,846	448,000	154,846
支払手数料	53,178	42,406	10,772
雑費	30,000	926,700	△ 896,700
経常費用計	4,287,347,184	3,949,300,118	338,047,066
当期経常増減額	△ 31,016,847	△ 204,704,921	173,688,074
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取助成金	0	254,205,603	△ 254,205,603
経常外収益計	0	254,205,603	△ 254,205,603
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	254,205,602	△ 254,205,602
税引前当期一般正味財産増減額	△ 31,016,847	49,500,681	△ 80,517,528
法人税、住民税及び事業税	520,000	41,169,400	△ 40,649,400
当期一般正味財産増減額	△ 31,536,847	8,331,281	△ 39,868,128
一般正味財産期首残高	1,525,182,194	1,516,850,913	8,331,281
一般正味財産期末残高	1,493,645,347	1,525,182,194	△ 31,536,847
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 13,000,000	△ 13,000,000	0
当期指定正味財産増減額	△ 13,000,000	△ 13,000,000	0
指定正味財産期首残高	59,000,000	72,000,000	△ 13,000,000
指定正味財産期末残高	46,000,000	59,000,000	△ 13,000,000
III 正味財産期末残高	1,539,645,347	1,584,182,194	△ 44,536,847